



関市板取の「杉」



■会 長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹 事 伊佐治啓司



関市民 1000 人が参加して創りあげた
シャインカービンアード「関二鳥」

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ

『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES

RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ

『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



本日のプログラム

第 2613 回例会 2021 年 11 月 16 日 (火)

「ロータリー財団 地区補助金について」

堀部哲夫会員・酒井泉会員・長尾一郎会員

前例会の記録

第 2612 回例会 11 月 9 日 (火) 12:30

「米山奨学生スピーチ・自己紹介」

米山奨学生 王煜妍様

◆開会点鐘

◆会長挨拶



今期 7 月の第 1 回目の例会以来、久しぶりに例会場で開催できるようになりました。まだ 100% 安心出来ませんが、コロナ対策を徹底して出来る限り会場での例会を続けたいと思います。本日は、7 月例会

が休会になったため延期になっていた米山奨学生 王煜妍さんの卓話です。王さん、大変お待たせしました。宜しくお願いします。

さて、私達は感謝の気持ちを「ありがとう」の 5 文字で伝えています。しかし、お客様に「ありがとうございます」と伝える事はあっても、身近な人への感謝の言葉は忘れがちです。特に社員に対しては、「仕事は出来て当然」「やって当たり前」と思われる方もいるかもしれません。しかし、社員への感謝の気持ちを表すことは、とても大事な事です。「職場での感謝が、働く人にどのような影響を及ぼすのか」という事について、米国ペンシルバニア大学が興味深い研究を行っているので紹介したいと思います。41 人の大学職員を A と B

の 2 つのグループに分け、大学 OB に電話をかけて寄付を募る仕事をしてもらいました。結果は、1 週間で 1 人あたり、40 件前後でグループ間に差はありませんでした。そこで、大学基金の会長が A グループに出向いて、次のような感謝の言葉を伝えました。「この寄付金を募る仕事は、大学のためにとっても大切で、優秀な学生をたくさん輩出し、社会に貢献できるようになります。皆さんは本当に素晴らしいことをしてくださっています。大変な努力をされていることに心より感謝します」その結果、感謝の言葉を聞いた A グループは、電話をする件数が 1.5 倍に増え、特に何もされなかった B グループには変化はありませんでした。また、A グループの人たちは「自分は大学の役に立っている」という気持ちが 13% 強くなりました。この大学の研究からもわかるように、上司が部下に仕事の意義を説き、感謝の気持ちを伝えることで部下の行動が変わります。また、米国国立衛生研究所の調査でも、リーダーの感謝の気持ちが深くなると、メンバーのやる気を引き起こす脳内物質ドーパミンの放出量が増加する事がわかっています。日々感謝の気持ちを伝える事がメンバーのやる気を引き出し、積極性を高める秘訣となります。頻繁に感謝することなど見つけられないと思われるかもしれませんが、大事なものは「今あること・生きていることに感謝」という気持ちで日々を過ごす事。リーダーがメンバーに、日々感謝の気持ちを伝えるようにすると、メンバーたちの成長意欲が高まり、上下の隔たりのない一体感が生まれます。このような感謝は、宗教的な事ではなく脳科学の視点から見てもとても大切なことだと言

われています。作家で潜在能力研究家の小林正観氏が「ありがとう」の5文字に秘められた不思議な力を【言霊】と言い、『ありがとう』を年齢×1万回で奇跡が起き望んでいたことが現実になる。年齢×2万回で第2段階目の奇跡が起きる。年齢×3万回で第3段階の奇跡が起きるメッセージが届く」と伝えています。「ありがとう」と言われて怒る人はいません。社員の皆さんの発展は、会社の発展です。良いところを見つけてみては、いかがでしょうか。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 秋柝達也会員

会員 48名中 出席 27名 出席率 56.25%

◎ニコボックス委員会 委員 林昇会員

会長・副会長・幹事の皆さん・・・長い間 Zoom でのリモート例会でしたが、ようやく例会場での開催となり、久しぶりに会員の皆様と直接お会いできて本当に嬉しく思います。また、本日は、米山奨学生の王煜妍さんにスピーチをしていただきます。延び延びになっていましたが、やっと王煜妍さんのお話を聞くことができます。日本での学びの様子や成果を楽しくお聞かせください。よろしくをお願いします。

杉浦孝志会員・堀部哲夫会員・長尾一郎会員・林昇会員・尾崎嘉彦会員・福田春彦会員・粟倉晋吾会員・古田貴巳会員・酒向徳享会員・加藤浩二会員・三輪雄彦会員・奥村敏教会員・・・米山奨学生 王煜妍さん 久々の例会場での対面例会によるお越しくございました。メンバーもこの日を待ち望んだ記念すべき例会です。まだまだ、以前の日常を取り戻すには時間が必要と思いますが、普通の日々に感謝し毎日を大切にしていきたいと思います。

東谷好司会員・・・王さん、11月7日名古屋での米山委員会、出席ご苦労様でした。10月13日のゴルフコンペで優勝しました。今月、誕生日カードをありがとうございます。古希を迎えました。

秋柝達也会員・・・本日は、この場での例会は初めてなので、コロナ禍の長さを思いつつ、少々感激しています。

山田義久会員・・・お久しぶりです。皆様とお会いできて嬉しいです。

林隆一会員・・・堀部さん、市政功労表彰おめでとうございます。

堀部哲夫会員・・・妻の誕生日にバースデーカードをありがとうございました。

山田一成会員・・・妻にバースデーカードをいただきました。ありがとうございました。

◆「米山奨学生スピーチ・自己紹介」

米山奨学生 王煜妍様



先ほどのニコニコボックスからの皆さんの温かいお言葉、ありがとうございました。私も久しぶりに皆さんとお会いできて、とても嬉しいです。発表を始める前に、やはりまずこの米山奨

学会に対する感謝の気持ちを申し上げたいです。このような素晴らしい奨学金のおかげで、バイトせずに勉強や研究に集中することができました。寄付してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

では、発表を始めたいと思います。今日の発表のテーマは「自己紹介」です。まずは名前からですが、私の名前はオウイクケンです。漢字で書くと王煜妍になります。出身地は中国江蘇省南京市です。大学時代の専攻は日本語で、今の研究テーマは日本語の習得です。趣味は日本のアニメやゲームですが、日本語も大好きなので、これも趣味の一つとも言えると思います。次は私の故郷、南京市をご紹介したいと思います。市の中心部には結構高いビルがありまして、特にこちらのシャープという看板がついているビルには、飲食店やお洋服屋さんがたくさんあります。私が中国にいた時に、よく休日に母と一緒にそこへ行って、買い物したり美味しいものを食べたりしていました。右にある写真は新しく開発された商店街の写真です。私は一度も行ったことがないですが、写真から見ると結構繁栄しているようにも見えます。このように南京市はそれなり大きな町で、夜の10時になってもあちこち明かりがついています。ですが岐阜はちょっと田舎なところで、夜の9時くらいにすでに真っ暗になって、私が初めて岐阜に来た時に、「えっ皆もう寝たの？」という風にちょっとびっくりしていました。

次は南京市の観光スポットを皆さんにご紹介したいと思います。まずは中山陵です。これは中国革命の父と呼ばれる孫中山さんのお墓です。紫金山の中にあります。次は美齡宮というところです。これは中国国民党のリーダーとされている蒋介石さんが妻の宋美齡に送った別荘です。特に秋になると、上から見て、美齡宮はまるでネックレスに飾られた宝石のようで、とてもきれいだと思います。次は秦淮河ですが、これは南京市内2番目大きい川で、中国有名な思想家である孔子を祭っ

ている廟——夫子廟の隣にあります。最後は栖霞山という観光スポットですが、ここには仏教のお寺——栖霞寺があります。同時に栖霞山も中国四大紅葉名所の一つと呼ばれています。

次は南京の名物料理です。「家鴨の血と春雨のスープ」という料理です。赤いのはまさに家鴨の血です。そのほか家鴨の内臓や揚げ豆腐などもあります。一番下にあるのは春雨です。家鴨の血を不思議に思う方もいらっしゃると思いますが、これは日本の食べ物を例とすると、例えば納豆に対して、好きな人は大好きで、苦手な人は全然食べないということもありまして、家鴨の血も同じです。なので、内臓がお好きな方はぜひ南京へ来て食べてみてください。

次は自分の好きな日本のアニメをご紹介します。例えば宮崎駿さんの作品、『千と千尋の神隠し』や『ハウルの動く城』です。どちらもとても面白いアニメ映画です。私が特に好きなアニメは『響け！ユーフォニアム』というアニメで、京都アニメーションが作った作品で、簡単に言うと、青春、友情、夢を描く物語です。何回も見て泣いていました。

次は私が今通っている大学——岐阜大学の景色をご紹介します。まずは桜です。日本と言ったら桜が定番です。岐阜大学の桜もとてもきれいで、アニメの中の桜のシーンと全く同じで、ちょっと感動していました。また、うちの大学には岐大祭という祭りがありまして、毎年人がいっぱい来てとても賑やかです。

最後は自分の研究について皆さんにご紹介します。皆さんは普段喋っている時に、よく「あの」「えっと」などの表現を使うことに気付きませんでしたか？これらの表現は実は「フィラー」と呼ばれています。私はこのようなフィラーを「母音型」「エート型」「コーソー型」「コソア型」「ナンカ型」などの11種類に分けて、研究をしています。具体的に言うと、日本語母語話者と日本語学習者（初級+超級）の談話を分析し、その中に現れたフィラーの回数を数えることです。母語話者と初級、超級学習者の比較をしてみると、結果、学習者の日本語力が上がると、そのフィラーの使用もだんだん母語話者と似ているようになっていくことが分かりました。この研究の意義についてですが、私は将来中国の大学の先生になって、日本語を勉強する人達が自然な日本語を話せるように助けたいと思っています。このことを通して、日本と中国の交流をさらに深めて、その懸け橋になりたいです。以上です、ご清聴ありがとうございます。



ございました。

◆米山功労者表彰

第1回米山功労者（寄付累計10万円達成）

・今峰徹会員・加藤浩会員

第2回米山功労者（寄付累計20万円達成）

・杉浦孝志会員



杉浦孝志会員



加藤浩二会員

◆幹事報告

◎例会終了後「55周年実行委員会開催」

次例会のご案内 11月30日(火) 12:30
「東海北陸道グループIMの報告」
林昇会員